

JAL 争議団全国キャラバン



JAL 争議団の全国キャラバン～新潟では6月と8月にオルグが展開されます。6月は新潟市を中心に49箇所あまりの労働組合・民主団体へオルグを実施します。

6月は13日(木)と14日(金)に二組に分かれて行われます。8月は4日(日)に古町十字路で宣伝行動が計画されています。そして、新潟市以外の各地域へオルグが展開されます。

オルグではJAL 争議団への支援要請やカンパ・物販についても合わせて訴えます。

6月14日に国労へもオルグ団が支援要請に来ます。引き続きよろしくお願ひします。



NO. 790
発行
13・6月20日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部

いまJALの職場は・・・人員不足と不安全事故例

破綻後、賃金が切り下げられ、労働が強化されたために、職場は仕事に対するやりがいもなくしてモチベーションが低下しています。

そのために、解雇後、700名以上の客室乗務員が退職しました。そして、深刻な人員になり、判決直後、会社は新規採用をはじめました。2012年、2013年合わせて940名もの採用です。2012年9月から新人の乗務がはじまり、来年度になると4人に1人が新人という割合になります。

安全面では、非常用のドア操作を間違えたり、サービスカートにストッパーをかけ忘れたことで、カートが客室に飛び出してくるなどの重大な不安全事故が続いています。

●年齢を基準にした解雇？ (解雇された84名中、53歳以上64名、病気等20名)



できません。会社は「若返りと筋肉質な体制」をはかる、と、第一の希望退職募集年齢を管理者55歳以上、一般職45歳以上にしました。年齢による解雇は、国際人権規約や憲法14条等に違反する差別です。

その結果職場から多くのベテランがいなくなりました。



ふうせつ

6月も中旬になりました。今年も半分を終わろうとしています。時間が流れるのが早く感じます。

6月2日発行の「赤旗」に日航解雇撤回・審理年内ヤマ場々見出しの記事が記載されていま

た。弁護団の安原幸彦弁護士は●会社の主張する「事業規模縮小に見合う人員体制」は解雇以前に達成しており、会社側は反論不能になった●解雇強行の真の狙いである労働組合つぶしを明らかにしたく支援共闘会議・代表者会議で報告されまし

た。支援共闘会議は全労連・全労協・全国港湾労働組合連合会・マスコミ文化情報労働会議(MIC)などの労働組合や民主団体が呼びかけて解雇が強行された2010年12月に結成されました。

2013年 6月15日 第93号



KN山の会たより 新潟市秋葉区善道町1-1-1

KN山の会たより

国 労 新 潟 山 の 会
 発 行 所
 新潟市秋葉区善道町1-1-1
 〒956-0865 ☎ 0250-24-8336
 FAX 0250-24-8337
 2013年6月15日 No. 93号
 発行責任者 大湊 茂
 発 行 者 野村 正三

蒜場山報告

とき 6月1日(土) 7:00
 集合場所: 加治川治水ダム

蒜場山 (1363m)

加治川ダム駐車場	7:02
米平新道登山口	7:07
岩岳 (930m)	8:37
烏帽子岩 (1030m)	9:16
山状峰 (1330m)	10:15
蒜場山 (1363m)	10:32
休憩	11:08
岩岳 (930m)	12:40
登山口	13:39
のぼり = 3時間30分	
くだり = 2時間31分	



風間さんは大湊家によって、三川を
 通って東赤谷から加治川治水ダムへ、
 私は、新新バイパスを通して新発田から
 東赤谷へダムで合流しました。どちら
 も朝が早いので1時間位で到着しまし
 ました。身支度して7時に出発。登山道
 はというと、これが最初からの急登！
 しばらく登ると赤谷鉱山の名残、トロッ
 コやレールの残骸が残っている。独標
 で休憩しようと思っていたが、見落と
 してしまう。岩岳までが登りが続き、
 そこから上下を繰り返しながらの尾根
 を越えていく。

岩岳 930m到着。看板には手書き
 で4合目。この登山道は、下越山岳会
 によって拓かれ、1997年に登山道開き
 が行われたと聞いている。登っている
 途中に、登山道を整備している4名
 の方に会いました。その人たちは、チェ
 ンソー持って、倒木や、枯れた木など
 を切って整備し、岩岳まで行きそこ
 から引き返したようです。
 おかげで、登山道は、とても歩きやす

いです。…ありがとうございます。
 少し下った鞍部に素晴らしいブナ林が
 広がっていた。烏帽子岩への登りの鎖
 場です。烏帽子岩の上はそれ程広くな
 く周りは切れ落ちている。休憩するが
 (ブヨ) いる…

狭い岩稜が続きますが、処によって



は崩壊が進み、強い雨が降ったら登山
 道が無くなってしまふのではと思わさ
 れる処もありました。

しばらくは見晴らしの良い尾根を歩
 きますが、最後には又、灌木の間のガ
 マンの登りが続き、登りきった処が山
 伏峰の看板が置いてある小さなピークで、
 目の前が山頂です。

青空が広がり言うことの無い天気
 になり、飯豊連峰、二王子岳、河内山塊、
 福島山々と360度の展望が広が
 っていました。帰りは来た道を戻るが、
 岩岳までは中々のアップダンの道な
 のでとてもナンギでした。山野草がそ
 のの辛さを和ましてくれました。自分
 が知っている花で…シラネアオイ(白と紫
 シラネアオイ)・キジムシロ・スミレ・
 キクザキイチゲ・カタクリ・イワカガ
 ミ・シャクナゲ・ヤマツツジ・ヤマザ
 クラ・タムシバ・シャクナゲ・チゴ
 リユリは蕾でした。

感想ですが、疲れました。幾つもア
 ップダウンがキツク辛い、翌
 日は筋肉痛に…原発ゼロ集
 会に参加する
 のです。



キジムシロ

2999m 劔岳登山計画

とき 7月22日~23日予備(24日)
 集合場所: 国労地本前 5時集合
 宿泊: 劔山荘 申込〆切: 7/15
 リーダー 坂井健郎

第一日目

国労地本前	5:00
立山IC	7:30
立山駅(ケーブルカー)	8:30
美女平(バス)	8:40
室堂平	10:00
↓45分	
雷鳥平	10:45
↓10分	
分岐点	10:55
↓1:50分	
劔御前小舎	12:45
↓40分	
劔沢小屋	13:25
↓30分	
劔山荘	13:55
のぼり = 3時間55分	

第二日目

劔山荘	5:00
↓30分	
一服劔	5:30
↓40分	
前劔(2813m)	6:20
↓1:20分	
劔岳(2999m)山頂	8:00~30
↓1:20分	
劔山荘	10:30
↓2:20分	
別山乗越	13:00
↓30分	
雷鳥平	14:20
↓45分	
室堂平	15:05
↓50分	
美女平(バス)	16:20
↓10分	
立山駅(ケーブルカー)	16:40
↓60分	
立山IC	18:00
↓3:00分	
国労地本前	21:00
くだり = 7時間25分	

